

生駒便り

近畿大学経済学部広報



特集

海外体験プログラム
誌上セミナー

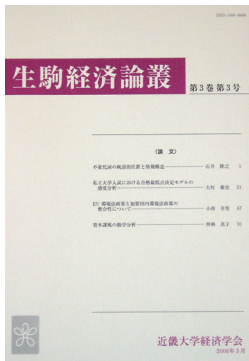
計量経済学・多国籍企業論

経済学部のIT教育

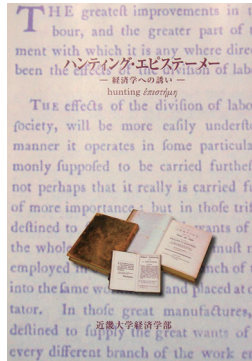
—国際経済学科の新しい試み—

2007年 第5号

経済学部の刊行物



『生駒経済論叢』(年3回刊行)



『ハンティング・エビステーメー
経済学への誘い』(年1回刊行)

表紙写真について

今号の表紙は近畿大学キャンパス内で見られるいくつかの風景で構成してみた。

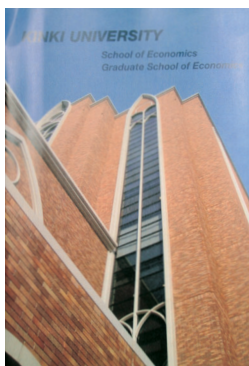
(向かって左上写真) 近畿大学西門の一部である。事实上、本大学正門の役割を果たす高さが優に建物4階分はあるアーチ状のこの門は煉瓦造りで、1979年に完成した。毎日丹念に一段一段煉瓦が積み上げられていった様子が懐かしく思い出される。完成当初はその大きさに周りの景色がついていけなかったが、いつの間にか周辺の人々にも親しまれ、今や近畿大学の象徴的な建造物になっている。写真はその一部分を撮ったもので、まるでヨーロッパの街角のようである。

(向かって右上写真) B館2階の東側の大きな窓からEキャンパス庭園を望んだ風景で、紅葉している樹木が美しい。窓の内側に設けられた長椅子が、講義の合間に季節の移り変わりにつれて、その彩りを変化させていく木々を見ながら思索するのに絶好の場所となっている。

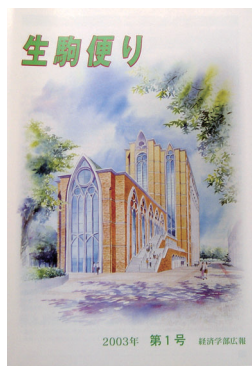
(向かって左下写真) 本学に文芸学部が創設されてから、その教員や学生の作品がキャンパスに置かれるようになった。数年以上前から本館の前の庭に静かに佇んでいるこのオブジェは文芸学部の柴清文先生の作品で、今ではすっかりキャンパスの風景に溶け込み、知らぬ間にわれわれの心を豊かにしている。

(向かって右下写真) 昨年、建造されたばかりのE(e-cube) 英語村の前景である。E(e-cube)にはネイティブスピーカースタッフがいて、この村を訪れた学生や教職員との会話の相手をしている。この村ではもちろん日本語は通用しない。英語で考えそれを英語で表現しなければならない近畿大学の新しい空間である。経済学部の学生は教室で学習した英語をここで試せばよい。かつて日本画家、東山魁夷はパリのコンコルド広場を描いたときに、この広場の最も目立たない存在である椅子のもつ多彩な表情に驚き、その椅子たちにパリの心を語らせていたが、E(e-cube) 前のテラスの4脚の赤い椅子からも生き生きとした楽しい語らいが聞こえてくるようだ。これらの4枚の写真撮影は経済学部事務部の田中弘光氏によるものである。

中村 進 (なかむら・すすむ 経済学科教授)



『経済学部・大学院経済学研究科
英文パンフレット』



『生駒便利』第1号(年1回刊行)



『生駒便利』第2号



『生駒便利』第3号



『生駒便利』第4号

目次

経済学部のカリキュラムと人づくり2

特集

海外体験プログラム
国際経済学科の新しい試み4
経済学部のIT教育21

研究室訪問

問題解決のための科学10
契約理論とインセンティブ11
政策現場へつながる窓40

トピックス12

誌上セミナー

グローバリズムってそんなにいいの? ...13
多国籍企業論15

総合経済政策学科の分野を変更します18

学生の声

留学生活を楽しく9
大学生活28
大学生活28
目指すもの31

新任教員紹介

近畿大学に赴任して32
教育者としての抱負32
学生の未来のために...33
近畿大学経済学部へ赴任して33
近畿大学での5ヶ月34
経済学は怖くない?35
英語教員になる経緯と今考えていること 36

エッセイ
カク差26

平成18年度「授業評価」について29

ノート風評論
「珍しい本」から見た歴史的断面の人間模様
.....37

回顧 2003~2007年41

経済学部広報

経済学部定例講演会43
新しい寄附講座の開催について43
今夏、サマースクールを実施44
文系4学部合同による教育懇談会の開催 45
アドバイザリー・ボードを設置45
情報処理特修課程・女子特修課程修了証授与式
.....45
奄美大島フィールドワーク-総合経済政策学科 45
英文パンフレットを刊行46
最近の就職状況46
・私の就職活動48
・就職活動に向けて49
平成19年度入試を終えて49
・大学入学のススメ52

編集後記